

R4年度 FBC(フラワー・ブラボー・コンクール)に初めての挑戦

美濃加茂市立加茂野小学校

1 花壇の明細

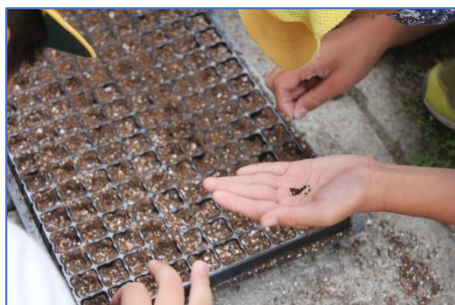
花壇の場所	種類	品 種	面 積	播種年月日	植付年月日	備考
校舎の中庭	・サルビア(赤・青・白) ・マンボジウム ・マーゴールド(黄・オレンジ)・ニチニチソウ		17㎡	5月10日	7月20日	

<経 緯>

全校児童741名の大規模小学校である。学校生活におけるコロナ禍の影響は計り知れず、子どもたちは制限された日常生活を送っている。それでも、徐々に活動を広げ、できることは工夫して行い学校には活気が戻りつつある。

本年度は、学校経営のキーワードを「自分のよさを出し切る」とし、子ども一人一人が、自分のよさを自覚し、存分に発揮(表現)する姿を目指している。そこで、体験活動を充実させ、豊かに自己表現する力を身につけさせたいと考えた。その一環として、福祉委員会が中心となってFBCに挑戦し、植物を育てる活動を位置づけた。同時に、植物を継続して見届け、育てることの難しさも学びながら、生命の大切さを学ばせていきたい。

特に、本校は鑑賞できる花壇がなく、場所の選定と花壇づくり・土づくりを同時進行で行ってきた。1年目の遅々たる歩みではあるが、今後は一層、児童の主体的な活動として位置付けていきたい。



① 種 植 え



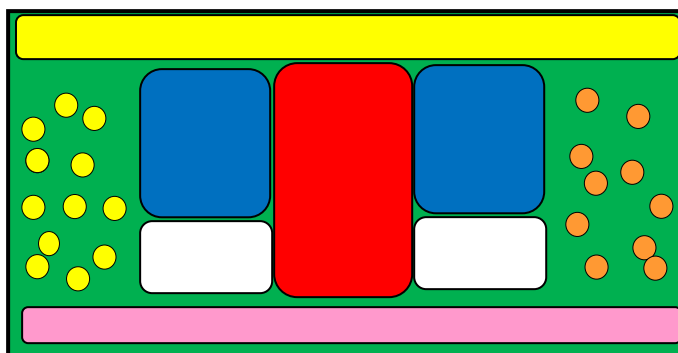
② 植 え 替 え



③ 定 植

2 花壇の位置・略図

- サルビア(赤)
- サルビア(青)
- サルビア(白)
- ニチニチソウ
- マンボジウム
- マーゴールド(黄)
- マーゴールド(オレンジ)



<デザイン>

本年度は、福祉委員29名全員が自分の願う花壇のデザインを考えた。そして、投票の結果、5の4古田颯空さんの考えたデザインに決定した。



テーマ：「わ」

加茂野小の「輪っか」という意味。1年から6年までたくさんいる学校だけど、みんな仲良く輪のように丸く集まってほしいという願いを込めている。

3 教育上の利用状況

① 1, 2年生の玄関前に花壇を作成

○情操教育を兼ね、低学年の玄関口に花壇を設置。子どもたちが、常に成長を見守ることができる。

○花壇の場所は、1年生の掃除場所であり、日ごろから雑草の手入れとともに、玄関付近の整理整頓に努めている。

② 「福祉委員会」による飼育・栽培

○本年度は、急なスタートとなったが、福祉委員会の活動に位置づけた。子どもたちは喜んで、種植え➡植え替え➡定植+水やり、草引き等を行った。

○福祉委員全員で、花壇のデザインを考え、全員で決定した。夏季休業中の世話については、プールが中止であること、熱中症の心配があることから、教師のみで行っている。

③ 「花壇づくり」と「土づくり」

○花壇は教員が手作りした。

○土づくりは、福祉委員会の有志も参加して行った。

土は、土壌の土をふるいにかけて、石、小石を取り除いた。次に、堆肥場の土を何度も運んで入れた。

また、一部、市販の堆肥を購入して入れている。

○次年度からは、福祉委員会が中心となって、計画的に飼育・栽培を行っていく予定である。

④ FBCを中心とした飼育・栽培の体験活動の充実

○本年度から、体験活動を充実させる中で、子どもの自己表現する力を育もうとしている。FBCはもちろん、広いサツマイモ畑を借り、1, 2年生全員がサツマイモを植えることができた。また、4年生のへちま・ひょうたんが学級ごとに畑を管理することとなった。このように、子どもが直接、飼育・栽培する機会を増やしていこうとしている。



4 校外活動状況

① 地域と連携して「天乳（あまち）池」にも花を

本校は、本年度から『コミュニティスクール』推進校となった。今年の学校運営協議会では、花づくり（FBC）が話題となり、次年度からは、地域の協力を得ることや地域に花を届ける活動を展開することも話題となった。隣接する地域の方の憩いの場「天乳池」にも花を植えたいと考えている。

